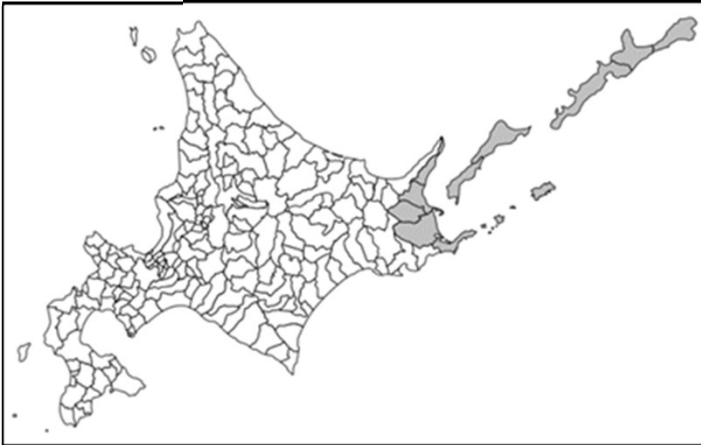


概要

●広域図



●拡大図

終戦当時、北方領土には
17,291人
の方が生活しておられました。

えとろふ 択捉島

終戦時には、3村合わせて
739世帯、3,608人の日本人
が住んでいました。

択捉島

しべとろ
薬取村

しゃな
紗那村

るべつ
留別村

くなしり 国後島

終戦時には、2村合わせて
1,327世帯、7,364人の日本人
が住んでいました。

国後島

るやべつ
留夜別村

とまり
泊村

色丹島

しこたん 色丹島

終戦時には、206世帯、
1,038人の日本人が住んで
いました。

はばまい 歯舞群島 (根室市)

終戦時には、各島合わせて
852世帯、5,281人の
日本人が住んで
いました。

※ここに掲げる元島民の人数は、
昭和20年8月15日現在において
6ヶ月以上北方地域に居住して
いた者の数であり、同月まで居
住していた期間が6ヶ月未満の
者の数は含まれていません。

概要

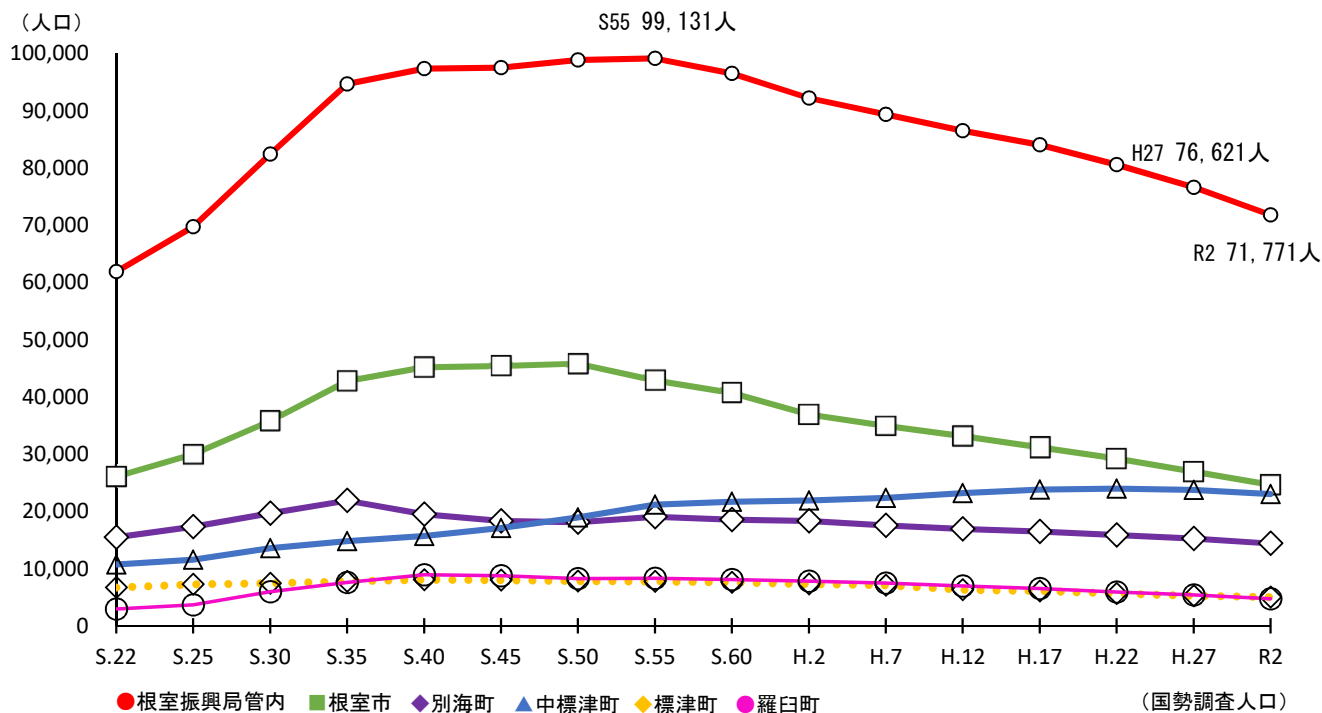
年号	出来事
1754年(宝暦4年)	松前藩が国後に場所(交易地)を開く。
1869年(明治2年)	開拓使が置かれ、エゾ地を北海道に改める。 松本十郎判官、移民百余名を率いて入植する。
1872年(明治5年)	開拓使根室支庁が置かれる。
1882年(明治15年)	開拓使廃止。根室県が置かれる。
1886年(明治19年)	北海道庁設置。
	根室県廃止。
	和田屯田兵の入植が開始される。
1897年(明治30年)	支庁設置(根室支庁および紗那支庁)。
1903年(明治36年)	紗那支庁と根室支庁が合併。
1946年(昭和21年)	標津村から中標津村が分村、その後、中標津村、標津村、 羅臼村、別海村が順次、町制を施行した。
1957年(昭和32年)	根室町と和田村が合併し根室市となる。
1959年(昭和34年)	根室市に歯舞村が編入合併する。
2010年(平成22年)	根室支庁から根室振興局に名称変更する。

Краткое содержание

概要

管内の人口は、令和2年国勢調査によると総人口71,771人となっており、平成27年と比較すると、総人口で4,850人の減少、市町別にみても減少傾向にあります。人口密度は20.5人/km²で全道平均66.6人/km²に比べて半分以下となっています。

市町別人口の推移

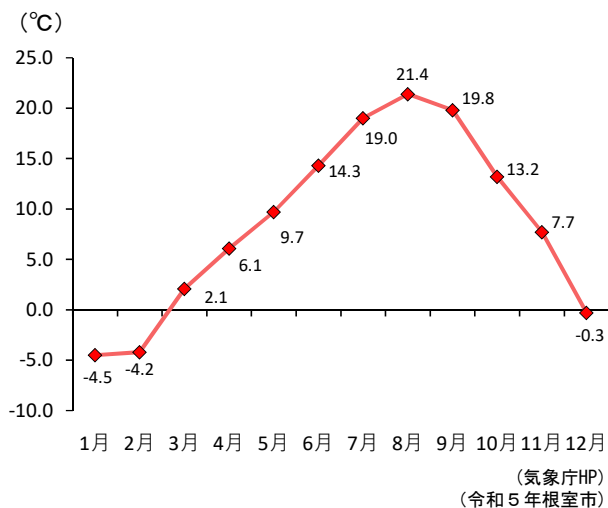


根室半島及び沿岸部では、海洋性気候、内陸部では、大陸性気候を示し、年平均気温は、5℃～7℃と冷涼であり、オホーツク海域は、冬期間流水に閉ざされ、厳しい寒気に見舞われます。また、春から夏にかけて海霧(じり)におおわれることが多く、霧日数は例年90日前後にも達します。



●野付半島のエゾシカ(別海町)

月平均気温



月別日照時間・降水量

